

### 清水丈夫さん 瑞宝単光章受章

清水丈夫さん（茅町）が瑞宝単光章を受章されました。清水さんは、昭和27年10月に埼玉県巡査に任命されて以来、38年の長きにわたり県内の5警察署、県警本部捜査第一課などに勤務されました。そのうちの35年間、刑事として活躍。平成3年3月に刑事係長を最後に退官されました。



その間、多くの事件の捜査に尽力されたほか、県警本部が若手刑事の参考書として出版した「ベテラン刑事の体験記—ドキュメント捜査—」に自らの捜査事例が掲載され、捜査のコツを伝授するなど、若手刑事のよき手本としても活躍されました。

また、退職後は川越遊技業組合の事務局長を務め、安全・安心な地域社会の確立に大きく貢献されました。

### 阿川甫吉さん 瑞宝双光章受章

阿川甫吉さん（折原下郷）が瑞宝双光章を受章されました。



阿川さんは、昭和35年3月に埼玉大学教育学部を卒業、同年4月、児玉郡美里村立大沢小学校に赴任されました。以来、折原小学校長、深谷市立桜ヶ丘小学校長などを歴任され、平成10年3月に寄居小学校長として退職されるまで、38年の長きにわたり学校教育に専心されました。

また、教育行政の面では、埼玉県大里教育事務所次長、同児玉教育事務所長などを歴任されるなど、地域教育行政の推進にも尽力されました。

さらに、平成16年から現在まで、町立中央公民館長兼図書館長として、社会教育の推進に情熱を注がれ、町教育行政の振興に大きく貢献されています。

### 原 清さん 旭日小綬章受章

陶芸家の原清さん（今市）が旭日小綬章を受章されました。



原さんは、平成17年8月、重要無形文化財（鉄釉陶器の制作技術）の保持者（人間国宝）に認定されました。鉄釉陶器の制作技術は、釉に含まれる鉄分により黒色、茶色などに呈色する陶器の制作技法です。

原さんは、鉄釉と鈎窯と呼ばれる二つの釉を中心とする技法・表現の研鑽を重ね、伝統的な陶器の技法を体得されました。鉄釉の手法で動植物などの文様を浮かび上がらせる作風は、従来の鉄釉陶器技法に新しい展開を示すものとして高い評価を得ています。また、社団法人日本工芸会の役員も務められ、伝統工芸の保存と活用を図るなど文化の向上にも寄与されています。

この度の受章は、これら伝統工芸の担い手としての功績や独自の作風などが認められたものです。

# 叙勲

# 功労功績

をたたえて

様々な分野に貢献された  
皆さんをご紹介します

## 彩の国コミュニティ協議会長から シラコバト賞



心のふれあいを  
深める活動

六供民踊会（村田喜久会長）

当団体は、昭和55年に地域の女性の親睦をはじめ地域の行事、お祭りに協力することなどを目的として組織されました。地区体育祭・北條まつり・敬老会などに参加するほか、県障害者音楽交流会にも参加しています。その他、町の文化活動にも積極的に参加するなど、地域の活性化に貢献されています。



郷土を知り、郷  
土を想う活動

寄居町訪問ボランティア芸能友の会  
（吉澤健次会長）

当団体は、平成8年に町内各分野の芸能グループや個人の同好者が集まり組織されました。町内・外の福祉施設などを訪問し、多彩な伝統芸能を披露するなど、福祉の向上に貢献されています。また、伝統芸能の伝承、後継者の育成につとめ、町の文化活動の向上にも寄与されています。



住みよいふるさと  
をつくる活動

伊藤袈裟人さん  
（三ヶ山）

伊藤さんは、11年前から三ヶ山地区内に捨てられたカンやビンなど、様々なゴミを週2回程度自宅に持ち帰り、分別作業を行っています。伊藤さんのこうした活動は、区民のゴミ問題への関心を高め、最近では、地区内の道路などがきれいに保たれているとのこと。



住みよいふるさと  
をつくる活動

石川一治さん  
（末野2）

通学路の整備に伴い、広大な空気が生じ、雑草が生い茂ったままの土地がありました。石川さんは、8年前からこの土地を整備し、四季折々の花々が楽しめる花壇を作りあげました。朝・夕の手入れ時には児童らに声かけを行ない、安心できる地域づくりにも貢献されています。



心のふれあいを  
深める活動

江原甲子さん  
（塚田）

江原さんは、趣味の絵を生かし、14年前から童話や民話を中心とした紙芝居を制作、幼稚園・小学校で演じています。平成10年からは、小学校教育ボランティアとして子供たちに竹とんぼや風車などの制作を指導し、学校教育活動に貢献されています。